

試合番号 : 397		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 3,064	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:10		試合時間 : 02:10		主審 : 山本 和良	
副審 : グレグ ルーオー		NECレッドロケッツ		岡山シーガルズ		通算 11勝 4敗	
通算 8勝 7敗		ポイント : 24		20 第1セット 25		ポイント : 32	
監督コメント	1	3	3	第2セットまでは連勝の勢いがうまくなり、いい流れが作れました。第3セットに入りNECの大声援に集中を欠き、心のスキがでた結果となりました。第4セットは気持ちを切り替え、チーム全体で勝ち取ることができました。来週の今季最後のホームゲームでさらに飛躍できるよう、この試合の反省を生かしたいと思います。今日は遠方にもかかわらず多くの方が応援に駆けつけてくださり感謝いたします。今後よろしくお願ひします。			
				25 第2セット 25			
				25 第3セット 18			
				21 第4セット 25			
				第5セット			
要約レポート							
ホームゲーム最終戦を、会場に詰めかけた満員の応援の力も味方にして勝利をあげたいNECレッドロケッツと前回同様ストレートで勝ちを奪いたい岡山シーガルズの対戦。第1セット、序盤流れをつかみたい両チームであったが、岡山が佐々木の好リブから金田、渡邊のスパイク、宮下(運)のブロックにより主導権を握った。その後、離されたくないNECは曾我、山内のスパイクで反撃するも、終盤岡山の渡邊が立て続けにスパイクを決め、岡山がセットを先取した。第2セット、岡山は佐々木の緊急を付けたスパイクや渡邊のブロックにより好スタートを見せた。その後も渡邊、金田のスパイクが次々と決まり得点を積み重ね、リードを奪った。NECも途中交代の柳田と曾我のスパイクで反撃するも、岡山・宮下(運)のフェンスを恐れられないリブに象徴されるようなチーム全員の気持ちでセットを連取した。第3セット、先にリードしたい両チームとも意地を見せ合い白熱したシーソーゲームとなる。中盤までもつれた展開になったが、NECのセット先発出場の柳田のスパイクがチームに勢いを付け、島村のブロード攻撃も冴え、セットを取り返す。第4セット、スタートからNEC古賀、柳田の勢いは止められず、岡山は連続ポイントを許してしまうが、岡山はセッターを宇賀神に代えリズムを整え、同じく交代した吉岡の活躍と、終盤に見せたりペロ楯崎のスーパーリブの連続で勝利を手に入れた。							
試合番号 : 398		試合会場 : アダストリア みと アリーナ				観客数 : 1,381	
開始時間 : 13:35		終了時間 : 15:01		試合時間 : 01:26		主審 : 吉岡 奈々	
副審 : 増岡 三佳子		デンソーエアリービーズ		ヴィクトリーナ姫路		通算 3勝 14敗	
通算 13勝 2敗		ポイント : 36		25 第1セット 14		ポイント : 10	
監督コメント	3	0	0	今日はご声援ありがとうございます。スタートが悪く、サイドアウトが取れない苦しい展開でした。どうしたらいいか分からなくなっているコートの中の選手を、途中出場のベテラン高木が当たり前のことを当たり前に見せることで、落ち着かせてくれました。松本もオフェンスではブロックにつかまなかったものの、ディフェンスでは安定したプレーを見せてくれました。明日はスタートから自分たちの展開でプレーができるよう、チーム全体としてもっともっとハードワークしていけるような働きかけをしたいと思ひます。明日もご声援よろしくお願ひします。			
				25 第2セット 21			
				25 第3セット 21			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							
第1セット、デンソーエアリービーズは安定したリブから工藤やシニアードの攻撃でポイントを重ねる。対するヴィクトリーナ姫路は吉岡のブロックや粘り強いリブからイブナのスパイクで反撃するも、中盤以降安定したゲーム運びを見せたデンソーが先取した。第2セット、姫路は金彩のスパイク、高木のブロックでリズムを掴み競った展開となったが、終盤に中元のサービスエースでリードを奪ったデンソーがセットを連取した。続く第3セットは多彩な攻撃でポイントを奪うデンソーと、粘り強い守備からアウトサイドヒッターのスパイクでポイントを奪う姫路という展開が続くが、終盤にデンソーの兵頭がブロックとスパイクを立て続けに決め、デンソーが粘る姫路を振り切り勝利した。							
試合番号 : 399		試合会場 : アダストリア みと アリーナ				観客数 : 1,845	
開始時間 : 15:40		終了時間 : 18:14		試合時間 : 02:34		主審 : 服部 篤史	
副審 : 桑原 健輔		日立リヴァーレ		久光製菓スプリングス		通算 7勝 8敗	
通算 5勝 12敗		ポイント : 19		25 第1セット 22		ポイント : 20	
監督コメント	2	3	3	今週のホームゲームは、ファイナル8をかけた大事な一戦となるという意識で臨みました。粘ってしつこく攻めましたが、久光製菓の高いブロックに苦戦し、勝負所で1点を取ることができず、悔しい敗戦となりました。今日の試合に戻ることはできないので、明日の姫路戦に気持ちを切り替えていきたいと思ひます。沢山の素晴らしいご声援の中で戦えることに、心から感謝しています。明日もどうぞ宜しくお願い致します。			
				22 第2セット 25			
				22 第3セット 25			
				27 第4セット 25			
				9 第5セット 15			
要約レポート							
日立リヴァーレと久光製菓スプリングスの対戦は激戦の末、久光製菓が勝利した。第1セット、久光製菓は石井と井上の攻撃、日立はタップ、窪田、長内のスパイクで得点を挙げ、どちらも譲らない展開となったが、最後は窪田のスパイクで日立がセットを先取した。第2セット、序盤、久光製菓はファイアナのブロックと攻撃でリードする。中盤、日立は長内、上坂、入澤、渡邊などの連続得点で逆転するも、久光製菓は岩坂、ファイアナのブロック、石井のバックアタックなどで追いつき、そのままの勢いで久光製菓がセットを取った。第3セット、序盤、久光製菓は岩坂のブロックが決まりリードする。日立は長内、入澤のスパイクで反撃するが、久光製菓はまたもや岩坂がブロックを決めてセットを連取した。第4セット、序盤、中盤はシーソーゲームとなる。終盤、久光製菓が途中交代した加藤のサービスエース、石井のスパイクなどでリードするも、日立は長内のスパイクで追い上げ、逆転で日立がセットを取った。最終第5セット、序盤はシーソーゲームとなる。しかし、チェンジコートから久光製菓は石井、新鍋の連続得点で突き放す。日立は上坂のスパイクで一矢報いるも、最後は新鍋のスパイクで久光製菓が勝利した。							
試合番号 : 400		試合会場 : 深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)				観客数 : 793	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:35		試合時間 : 01:35		主審 : 高橋 宏明	
副審 : 浜野 陽一		埼玉上尾メディックス		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 1勝 16敗	
通算 10勝 6敗		ポイント : 31		25 第1セット 15		ポイント : 5	
監督コメント	3	0	0	今日は、交流戦が終わり、スターカンファレンス3レグ初戦であり、今シーズン最後のホームゲームを勝利で飾ることができ、大変嬉しく思ひます。第1、2セットは、リー選手の前衛、後衛からのオフェンスに対応できませんでしたが、第3セットでは、ブロックが機能し、効果的なタッチが取り、優位に試合を進めることができました。第2セット、20-22のタイム明けからサーブで勝ててセットを取った事は、選手を大いに称賛したいと思います。今回はスターカンファレンス上位チームとの対戦です。上位進出に向けて勝利できるように準備していきまふ。深谷大会に来てくれた多くのファン皆さん、温かい声援ありがとうございます。大事な試合がまだまだ続きます。引き続き応援よろしくお願ひします。			
				25 第2セット 23			
				25 第3セット 13			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							
埼玉上尾メディックスとKUROBEアクアフェアリーズの対戦。過去2連勝の埼玉上尾がそのまま勢いに乗って、連勝をつなげるかKUROBEが巻き返すか楽しみな試合である。第1セット、上尾は椎名、吉野、ジュニヤルのプレーで得点を重ねていく。対するKUROBEは、リー、榎田、綿引が応戦するが、25-15で埼玉上尾がセットを取る。第2セット、埼玉上尾は、サンティアゴ、ジュニヤルの攻撃によりリードする。KUROBEは、リー、榎田のスパイクで追いつくと、丸山のサービスエース、榎田のスパイクで逆転する。ここで埼玉上尾はメンバーを入れ替え流れを変える。一点刻みで双方譲らず、20-21までゲームは進むが、埼玉上尾は、堀江、富永、吉野、青柳のスパイクで一気に点を取り、25-23でセットを取る。第3セット、出だしは前のセットの状況が続く。埼玉上尾のジュニヤル、ジュニヤル、青柳に対してKUROBEは、リー、丸山、綿沼もブロック、スパイクで追いつくも、最後まで波に乗れず、最後は椎名のアタックが決まり、25-13とし、埼玉上尾が最後のホームゲームをストレートで勝利した。							

試合番号 : 401		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 1,827				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:33		試合時間 : 01:33		主審 : 佐々木 伸子		副審 : 北村 友香		
トヨタ車体クインシーズ		通算	11勝	6敗	14	第1セット	25	JTマーヴェラス		
			ポイント:	29				通算	14勝	
									ポイント:	
					0	14	第2セット	25	3	
						23	第3セット	25		
							第4セット			
							第5セット			
監督コメント		今日はパーフェクトに近い試合運びのJTをチームの総合力でも跳ね返すことが出来ず、ホームで勝利を楽しみにして下さっていたファンや応援してくださる方々に対して申し訳なく思っています。厳しい局面や劣勢時のプレー内容を改善する必要があります。連戦の中で、連勝や連敗がありながら苦しい時に自分の持っている力を信じ、チームの中の結束を強めて次の戦いに備えていく事が重要です。				スターカンファレンスの3レグが今週からスタートしました。対戦相手のホームゲームということもあり、非常にプレッシャーの掛かる試合となりました。トヨタ車体は、現在同カンファレンスで2位のチームです。私たちはサーブで流れを作り、相手のオフェンスに対してブロックとレシーブでプレッシャーを掛けることにより勝利することが出来ました。これからの試合についても、一つ一つチームとして戦いチャレンジし続け、多くのJTマーヴェラスファンを始め、チームを応援してくれる全ての方々に感謝しながら戦っていきます。応援、ありがとうございました。				
要約レポート		連敗は避けたいスターカンファレンス2位のトヨタ車体クインシーズが、5連勝中の同カンファレンス首位JTマーヴェラスをホームに迎えての3レグ初戦は、ストレートでJTが勝利した。第1セット、トヨタ車体の数回によるアタックポイントから幕を開け、4-2とリードしたトヨタ車体だったが、JTはドルーズのアタックなどで5連続得点し逆転する。ドルーズは自らのサーブで相手など、ディフェンスが機能し、中盤には4連続ポイント、終盤にも7連続ポイントでトヨタ車体を引き離した。第2セットもスタートからJTの勢いが止まらない。林や田中(瑞)を中心にポイントを重ねていく。トヨタ車体も粘り強いブロックフォローやレシーブでボールをつなぎ、攻撃まで持っていくものの、JTにブレイクを許す場面が目立った。第3セット、後の無いトヨタ車体はネリマンにボールを集め、ブロックタッチやバックからの強打などで互角の展開になるが、16-16からJT初音がサーブで攻め、流れを掴み4連続ポイント。トヨタ車体は内瀬戸のアタックや、杉のブロックなどであと一歩のところまでJTを追い詰めたが、僅差でセットを落とした。								

試合番号 : 402		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 1,400				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:51		試合時間 : 01:51		主審 : 中山 健		副審 : 城 智人		
東レアローズ		通算	11勝	5敗	23	第1セット	25	PFUブルーキャッツ		
			ポイント:	34				通算	3勝	
									ポイント:	
					3	25	第2セット	17	1	
						25	第3セット	14		
							第4セット	22		
							第5セット			
監督コメント		第1セット、スタートで簡単なボールを落とすなど集中力不足が目立ちました。終盤も結局しつこさをせずあっさり逆転を許し、セットを落としてしまし課題が多いセットとなりました。第2セットからはしっかりサイドアウトを取れるようになり、ディフェンスも機能しました。リズムが悪くなった時の連携力、修正力もしっかり作らなければ、これからの大事な試合で勝ちきれないと思います。				出来ることを毎週確実にやって、得点することを繰り返していけるようにまた頑張ります。ゲームの中でもう少しブレイクチャンスをもものに出来るようにしたいです。本日も応援を頂き、ありがとうございました。				
要約レポート		東レアローズ対PFUブルーキャッツの対戦は、東レの高さとサーブの良さが光った試合だった。第1セット、序盤PFUドルリスのブロックやスパイクが決まり6-2とリードする。対する東レはクランのサーブ時に相手を崩し、4連続得点を奪うなど6-6と追いつく。その後は1点を取り合う好ゲームとなる。中盤に東レがクランのスパイクなど4連続得点で13-16と抜け出したが、PFUが離れずにジワジワとついていく。23-23と終盤でPFUが追いつくと、最後はラリーで粘り3連続得点を奪ってこのセットを先取る。第2セット、東レのトス回しが変わりセンターの大野、小川の連攻や移動攻撃が面白いように決まっていく。PFUはサーブで崩したいところだが崩しきれない。東レは徐々に徐々にPFUを引き離し、終盤に3連続ブロックを決めてこのセットを奪い返す。第3セットは、第2セット同様に東レのセンター攻撃が決まる。5-5からの4連続得点をはじめ、このセットだけで3点以上の連続得点を3回も叩き出すなど、終始東レのペースで進みこのセットも連取る。第4セット、PFUは、メンバーを変えるなど試合のリズムを変えようとするが、連続得点がなかなか奪えない。東レは、終始サーブで攻め相手を崩し、自分たちのバレーを展開する。中盤までお互い譲らず我慢の展開だったが、東レが石川や黒後のスパイクなどで3連続得点を奪い15-12と抜け出すと、その3点差を最後まで守り切りきった東レがこの試合を勝利した。								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット		通算	-勝	
			ポイント:	-					ポイント:	
									-	
監督コメント						監督コメント				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット		通算	-勝	
			ポイント:	-					ポイント:	
									-	
監督コメント						監督コメント				
要約レポート										